

第4回会津若松市総合計画審議会 議事録

日 時 令和8年5月1日（金） 午後1時30分～午後3時30分
 会 場 会津若松市役所本庁舎1階 市民ホール
 出席者 会津若松市総合計画審議会委員12名（16名のうち4名欠席）
 事務局（企画政策部部長、企画政策部副部長、企画政策部副部長兼企画調整課長、企画調整課員2名）
 総合計画策定支援業務受託事業者（株式会社 NTT データ経営研究所2名）
 内 容 以下のとおり

1. 開会
2. 会長あいさつ

発言者	内容
司会（企画調整課長）	会長よりごあいさつを申し上げます。
会長	早いもので5月になりました。この審議会も総合計画の完成に向けて集中して議論していく必要があります。私自身、専門分野の関係もあり、様々な地域の総合計画の策定に携わっています。美しい計画書を作成することも大事ですが、作られた計画をどう実行したか、点検・評価して、次の計画を策定するプロセスが大事と考えています。もう1つは市民参加型で計画を策定する上で、そのプロセスをきちんと管理することで、これまでなかったネットワーク・連携を促すことも重要です。その過程の中で、次のまちづくりの人材が育っていくことも重要な点と考えています。市民の視点を活かして、本日はご意見いただきたいと思います。
司会（企画調整課長）	ありがとうございました。ここで、本年4月の人事異動により、新たに市の企画政策部長が着任いたしましたので、紹介させていただきます。会津若松市 企画政策部長の渡部 孝です。
企画政策部長	よろしくお願いいたします。

3. 議事

- (1)第7次総合計画の総括について
- (2)第8次総合計画の全体骨子案について
- (3)その他

発言者	質疑内容等
●事務局	本日も、次期総合計画の策定の支援を行っていただいている株式会社 NTT データ経営研究所からも出席をいただいております。 委員 16 名中 12 名が出席されておりますので、総合計画審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。 それでは会長より議事を進めていただきます。よろしくお願いいたします。
○会長	しばらくの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。 それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。 はじめに、(1)第7次総合計画の総括について、事務局の説明をお願いいたします。
●事務局	(資料に基づき内容を説明)
○会長	いったん、説明が終わりましたので、ここから委員の皆様からご意見やご質問等を伺いたしたいと思います。が、「第7次総合計画の総括」については、市政全般の大変幅広い分野を対象としており、内容もボリュームがございます。このため、ご意見等については、第7次総合計画において、5つある「政策目標」ごとに10分程度で伺いたしたいと思います。まず、第7次総合計画の政策目標1「未来につなぐひとづくり」を議題といたします。政策分野で言いますと、「1子ども・子育て」から政策分野「9社会参画」までとなります。 委員の皆様には、重要業績評価指標（KPI）等の達成状況に対する評価と、市の課題認識など、「第7次総合計画の総括」の妥当性についてご意見等を頂戴したいと思います。
○委員	議論の進め方について、別紙資料1と2でそれぞれ分けて議論していくのか、それとも別紙資料1と2の内容を併せて議論していくことで良いでしょうか。

●事務局	別紙資料 1 と 2 の内容を併せて、政策目標ごとにご意見いただきたいと思います。
○副会長	5 つの政策目標について、本日中にすべて議論するということが良いでしょうか。
●事務局	本日は、第 7 次総合計画の総括ということで、5 つの政策目標の全てについてご意見いただきたいと思います。
○委員	事前に資料を確認しましたが、文章内容・数値について問題ないと考えています。修正や反対の意見はありません。
○委員	出生数が増加しないことが問題だと思います。また、少年非行が増加している背景について市の見解をお聞きしたいです。
●事務局	出生数が減少していることが大きな課題であると認識しています。死亡数は増加している一方で、出生数が減少しており、ギャップがどんどん広がっています。死亡数を減少させることは難しいため、こどもの数を増やしていくことが一番重要ですが、複合的な問題でもあり、子育て支援だけではこどもの数は増えていかないと思っています。そのため、子育て支援だけでなく、分野横断的な取組が必要と考えています。少年非行が増えている背景は現状分からないため、宿題事項とさせていただきたいと思います。
○委員	別紙資料 2 の 23 ページの高齢者ボランティア登録者数について、総括の文章ではコロナ感染症の影響で登録者数が減少したとのことですが、目標に対して実績が大きく乖離しており、コロナの要因だけを背景とするのは難しいのではないのでしょうか。
●事務局	資料にも記載しているとおり、令和 3 年度からボランティアの定義を変更しています。元々は、「高齢者を支えるボランティア登録数」でしたが、「地域支援ネットワークボランティア登録者数のうち、高齢者の数」に変更した経緯があります。高齢者の方でボランティアに登録している人が減少している背景には、おそらくボランティアよりシルバー人材活用センターに登録して収入を得たいと考えている高齢者が増えていることも要因としてあるのではないかと

	考えています。
○委員	社会福祉協議会の活動において、ボランティアを行っています が、今年は応募者が少なく、今年はボランティアが実施できないよ うな厳しい状況です。
○委員	私自身、防災関連のボランティア活動において講師をしていま す。去年までは全8回、月ごとに防災関連のボランティアを実施し ていましたが、今年は応募者が少なく、夏に実施する予定のみで す。年々参加者が減少しているのは、告知が少ないのではないかと 感じています。紙面に情報を盛り込むだけでは実施内容がどうなっ ているかまでたどり着ける人が少ないのではないかと感じており、 ボランティア登録者数が減少している要因として、周知不足もある のではないかと考えます。
●事務局	周知が不足しているのではないかとのご意見、ありがとうございます。 広報の仕方も要因としてあると思いますが、地域のつながり が軽薄化している等の構造的な問題もあると考えています。背景や 要因について、今後探っていき、施策につなげていきたいと思いま す。
○委員	小学生の娘がいますが、この間、小学校で机のトゲが指に刺さっ てしまったことがありました。学校設備が老朽化しており、整備が 必要になっていることを実感しました。また、学校のトイレの洋式 化に取り組んでいるとのことですが、こどもの小学校では、洋式化 されているトイレはまだ少ないと感じています。今のこどもたちは 和式のトイレが使えない子が増えています。洋式化の実施状況につ いて教えてほしいです。トイレの洋式化は学校から市の方に声を上 げないと環境整備は行われないのでしょうか。
●事務局	学校関連の施設の改修等については、学校からの要望を受けて、 関係者間での予算確保協議会で協議し、改修等を実施しています。 小学校教員も定期的に点検しており、修理が必要な机に関しては修 理しています。予算が不足する場合はできない場合もありますが、 適宜実施しています。トイレの洋式化は、今までは各階に1箇所ず つ整備する方針で取り組んでいましたが、今後徐々に洋式トイレを

	増やしていく方針です。
○委員	予算確保協議会の委員として、関連する内容なので、補足させていただきます。毎年10月に予算に関する要望を出していますが、命に関わることを第一に考えて、空調設備の整備等を優先的に要望しています。ただ、要望を挙げることは無駄ではないと思います。
○会長	それでは、次に「政策目標2 強みを活かすしごとづくり」について、ご意見を頂戴したいと思います。
○委員	別紙資料1の内容が総合計画に記載され、別紙資料2の内容が掲載されないのであれば、出生率等の問題があるKPIについてはもう少し丁寧に記載する必要があるのではないのでしょうか。
●事務局	前回の審議会で示したような人口に関する基本的なデータについては、第8次総合計画にも掲載する予定です。
○委員	別紙資料1の3ページ18行目以降に「ICT関連産業の集積の取組については～こうした取組を～」とありますが、「こうした取組」というのは「ICT関連産業の集積」と解釈して良いのでしょうか。
●事務局	ICT関連産業の集積だけでなく、上段の文章も含めた文脈で記載していましたが、どちらとも解釈できるため、再考したいと思います。
○委員	新規就農者数が実績値としては、増えていますが、増えている印象がありません。また、新規就農者も大事だとは思いますが、定着率も重要だと思います。定着率の状況は把握していますか。
●事務局	新規就農者数については、農業法人への就職者や農家の後継者も含まれているため、実感として増えているという印象がないのかもしれませんが。定着率に関してはデータがないため把握しておりません。
○会長	新規就農者に関連して、村づくりや集落機能の空洞化が問題になっています。こどもが学校に就学する際に、農村部から市街地に引

●事務局	っ越しをしている事例も聞きます。農村部・集落機能の支援の観点についてもどこかに組み入れた方が良いのではないのでしょうか。 農村部の集落支援については、地域コミュニティの観点と考えており、現状の政策目標５に関連する分野と認識しています。市では地域運営組織の設置組を推進しており、今７つほどの組織が作られています。湊地区では法人化がされており、こうした動きがある地域と動きがない地域の二極化が課題となっています。地域コミュニティ関連の施策で対応していきたいと考えています。
○会長	それでは、次に「政策目標３ 安心、共生のくらしづくり」について、ご意見を頂戴したいと思います。
○委員	別紙資料１の４ページに「地域包括ケアシステムの構築やサロン活動の拡充など」と記載がありますが、サロン活動等は実施していても、予算的な問題もあり、続いていかない状況にあります。市の方でもサロン活動に対して補助的な支援をしてはどうでしょうか。地域包括支援センターは、人材確保が課題になっています。休日や夜間などに勤務する必要があり、担い手がいない状況です。市の方でも人材確保のための補助や支援をしてほしいです。
●事務局	予算に関しましては、この場でお答えすることができませんが、人手不足の問題は、どの分野も同様と認識しています。人口減少・人材が不足している中で、どのように補い合い、維持していくかについては、次期計画の視点の一つとして含める予定です。
○委員	市民協働プラザの活用を促進してはどうでしょうか。
●事務局	市民協働プラザの入居団体による連絡会が設置されると伺っており、関係者間で連携しつつ、活用を促進していきたいと思います。
○委員	「障がいのある人が差別等を感じた割合」が高くなっていますが、別紙資料１の第７次総合計画の総括では触れられていない点が気になりました。
●事務局	改正障害者差別解消法で合理的配慮の提供が求められるようにな

	りましたが、法に基づく合理的な配慮がなされていないという認識が広まり、結果として、差別が増えたという回答が多くなっているのではないかと認識しています。差別が増えたということではなく、制度ができているにも関わらず、それに対応する状況にはなっていないという状況を反映して、割合が高い状況と捉えています。合理的配慮は企業側の義務であるため、本市としては周知をしていく必要があると考えています。
○会長	それでは、次に「政策目標４ 安全、快適な基盤づくり」について、ご意見を頂戴したいと思います。
○委員	別紙資料１の６ページの１４行目以降に「空家等については～、住環境の最適化を進めていく」という記載があるが、具体的な内容を教えてください。
●事務局	空家対策だけでなく、耐震化等も含めて、市の方で住環境に関するマスタープランを策定予定であり、それを踏まえ、空家も含めた、住まいの最適化を進めていく予定です。
○副会長	空家問題に関して、東京では空家をリノベーションして活用している事例もあります。会津若松でも、UIJ ターン利用者向けに空家を活用してはどうでしょうか。このような観点も次期計画に含めてもらえればと思います。
●事務局	空家の利活用・有効活用という文言の追加を検討できればと思います。本市では、市内中心部ではありませんが、湊地区の空き家を改修して、移住者の方の居住環境の整備に取り組んでいます。
○委員	市内中心部に空地が多くあるため、その土地の活用をPRしてはどうでしょうか。また、安全性確保の観点から老朽化した家屋の解体等に対しても市の方で補助をするなど、安全性確保・景観維持の観点から積極的な支援をしてほしいと思います。
○委員	空家の活用について、国内・外国人観光客向けにゲストハウスにリノベーションして、活用してはどうでしょうか。リノベーション等をする際には、地元工務店を活用することで地域経済の活性化に

	もつながると思います。
○委員	空家対策は、税金や相続人の問題等、法律的な問題も絡んでくる内容だと思います。
●事務局	空家の活用については、市が買い上げて、リノベーションを進めていくような状況ではなく、民間が取り組んでいくことと考えています。他方で、老朽化した空き家の解体の補助や支援は行っているほか、民間に対して空き家活用を応援・支援する取組は市でもできると考えています。
○会長	それでは、次に「政策目標5 豊かな魅力ある地域づくり」について、ご意見を頂戴したいと思います。
○会長	別紙資料1の6ページで「地域運営組織による主体的な取組が進められるなど、～自主・自立のまちづくりが進展しました」と記載がありますが、組織は設置できているものの、人材がいないことから、思うように活用できていない実態があると感じています。
●事務局	地域運営組織については、組織によって活動の濃淡があると認識しています。活発に活動をしているところもあれば、行政が介入しているところもあります。総括には記載していませんが、活動が思うようにできていない組織に対しては、行政の方で活動をサポートする中間支援組織を作ろうとしています。自治基本条例が平成28年にできて、この総合計画とほぼ同時にできました。10年かけてここまで来たという認識です。
○会長	町内会の組織率は高いものの高齢化が進んでおり、動きが鈍くなっている状況です。都市部の他のコミュニティとの連携を模索していかないといけない段階にあり、新しい仕組み作りが必要と考えます。
●事務局	市民会議等で、世代間交流の促進や関係人口の拡大等により、地域コミュニティの維持・活性化を進めていった方が良いのではないかという意見をいただいていたため、別紙資料1の7ページにその旨を記載しています。このように、世代間交流の促進・関係人口等

	の活用により、地域コミュニティの維持に取り組んでいくことができると考えています。
○会長	タウンミーティングで、会津大学の学生が地域の高齢者に対して、スマホ等の使用方法等を教える機会があると聞きました。こうした取組は良いと思いました。
○委員	移住者に関して、二地域居住者が町内会に参加してくれるのかどうか、懸念があります。現在、町内会加入率は9割を超えていますが、二地域居住者が増えてくると加入率も低下するのではないかと危惧しています。市の方でも、二地域居住者に対して町内会の加入を促してほしいと思います。
●事務局	町内会への加入は自由意志のため、強制はできません。案内の仕方は限定的にはなりますが、二地域居住者は地域コミュニティに参加したいという意欲はあると考えています。市に相談をして、物件を紹介した移住者に対してはアプローチできますが、個人的に物件を取得した人に対してはアプローチが難しい現状があり、どのように町内会への加入を促進していくかという課題はあると考えています。
○副会長	会津若松市では、中心市街地に都市機能を集約したコンパクトシティを目指し、ウォーカブルな街づくりを推進していく方針と認識しています。他方で、会津若松市の中心市街地の路線価は減少している状況にあり、こうした現状でウォーカブルな街づくりは現実的には難しいと考えています。現在、郊外にある大型店舗等を中心市街地に移転するのは現実的には難しく、その点をどうしていくかを第8次総合計画に盛り込んでいく必要があると考えます。
○委員	人口減少が予測される中でも、町内会の加入率は90%を維持していきたいと考えています。現状、他自治体からの研修の受け入れを実施しており、昨年は4カ所の受け入れ実績があります。こうした活動を持続していく仕組みが重要と考えています。
●事務局	国では、ふるさと住民登録制度を創設予定であり、関係人口創出や地域活動の維持に寄与すると考えています。

○会長	ありがとうございました。それでは引き続き、(2)第8次総合計画の全体骨子案について、事務局の説明をお願いいたします。
●事務局	(資料に基づき内容を説明)
○会長	説明が終わりましたので、ここから委員の皆様からご意見やご質問等を伺います。第8次総合計画全体の構成に対するご意見等や、特に今回説明がありました「まちづくりアクション」について、市の課題や「第7次総合計画」の総括を踏まえた内容となっているかなど、考え方の妥当性についてご意見等を頂戴したいと思います。
○委員	第7次総合計画における「政策分野」の内容が第8次総合計画の「まちづくりアクション」の下層に紐づけられるということでしょうか。
●事務局	その通りです。
○会長	目標値が簡素化されるイメージで良いでしょうか。
●事務局	まちづくりアクションには、出生数のような複合的な要因が絡み合って算出される指標がKGIとして紐づきます。各政策には、KPIが紐づけられるイメージです。
○委員	それぞれのまちづくりアクションにKGIが紐づき、各政策それぞれにKPIが紐づくイメージで良いでしょうか。
●事務局	まちづくりアクションに設定するのがKGI、政策に紐づくのがKPIです。
○委員	別紙資料1の第7次総合計画の総括が第8次総合計画にどのように反映されているかを可視化することは可能でしょうか。
●事務局	その部分を本日は議論していただきたいと考えていました。現時点の資料では可視化までは出来ていません。

○会長	ほかにご質問等がないようですので、(3)その他に入ります。 委員の皆様から何かございますか。
○副会長	本日は、議論が分散化しないように進めていただいたが、今後の 審議会において、議題と関係のない意見が委員から出た際には、事 務局からも指摘いただきたい。
○会長	事務局からは何かございますか。
●事務局	(次回審議会の開催予定、団体等における役員改選等への対応の 連絡)
○会長	その他、何かありますでしょうか。 ないようでしたら、以上で議事を終了いたします。これをもって 議長の任を解かせていただきます。委員の皆様、ご協力ありがと うございました。
●事務局	岩崎会長ありがとうございました。 以上をもちまして、「第4回会津若松市総合計画審議会」を終了 いたします。長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。

4. 閉会